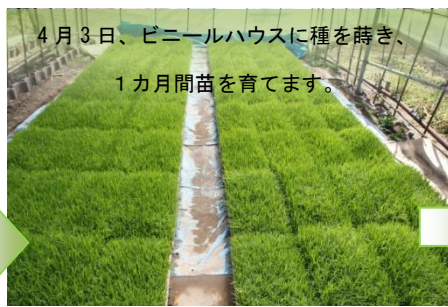


佐原の米づくり

久里浜には、お米を育てる田んぼが残っているのをご存じでしょうか？そのお米は市場に出ることはありませんが、生産者の方々は今年も久里浜産のお米の育成に励んでいます。佐原町内会の石川会長もお米を育てる生産者です。4名の仲間と共に田んぼを管理しています。その内2名は、石渡牧場で葉山牛も育てています。



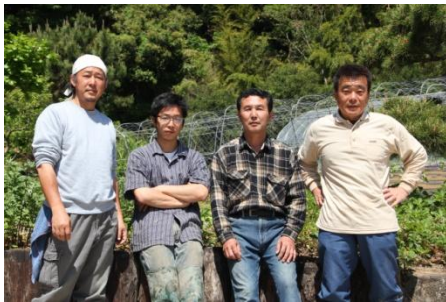
冬は、のどかな風景が広がります。



4月3日、ビニールハウスに種を蒔き、1カ月間苗を育てます。



最近機械を購入し、収穫量が増えました。



品種は、あきたこまちです。



茅山稲荷

先人達が、五穀豊穡を祈願し建立したものです。



田んぼ脇にあるビニールハウスで種から苗を育て、GWの3日間を利用し田植えを行いました。刈り取り時期は、8月下旬を予定しています。

収穫時期には稲穂が黄金色に輝き、訪れた人を魅了します。このような自然環境を子ども達に残していきたいという強い思いが、日々の作業の原動力となっています。



久里浜行政センター